

婦選会館に行って市川房枝記念展示室見学

&

山口理事長から市川房枝の真実を聞こう



市川房枝 語録より

・平和なくして平等なし
平等なくして平和なし

・権利の上に眠るな

・婦選は鍵なり

「暴君であった父からげんこつで、いや、ときには薪ざっぽでなぐられながら、じつと我慢していた母の姿がきっかけになった」

注釈…なぜ市川は生涯をかけ婦人問題にそれほど執念を持ったのか。『自伝』にこのようにかいている。(『名言格言集』インターネット検索より)

▲市川房枝 (1893~1981) : 愛知県生まれ。戦前と戦後にわたって、日本の婦人参政権運動を主導した。

▲参議院議員当選5回。「出たい人より出したい人」をと有権者に推しだされる「理想選挙」を自ら実践。無所属を貫き、1980年の第12回参議院議員選挙では87歳の高齢にもかかわらず全国区から278万4998票の大量得票でトップ当選したが、翌年、心筋梗塞により87歳9ヶ月の生涯を閉じた。

▲なお、元国連難民高等弁務官の緒方貞子が国連で仕事をする契機を作ったのは、『国際連合に日本女性を送り出したい』と考えていた市川房枝であった。

誰よりも、身近で共に活動してきた山口みつ子理事長から、婦人参政権運動に生涯をつらぬいた市川房枝の強さと優しさ、苦悩と喜びなど、市川房枝の真実を語っていただきます。

- 日時** 2015年12月12日(土)
午前10時30分~12時30分
- 会場** 婦選会館 (市川房枝記念会女性と政治センター)
JR新宿駅南口から徒歩7分
渋谷区代々木2-21-11 → 裏面の地図参照
TEL 03-3370-0239
- 集合** 午前10時: JR新宿駅南口改札口
- 資料代** 300円 (当日徴収)
- 内容** 第1部: 市川房枝記念展示室見学(案内あり)
第2部: 市川房枝の真実を聞こう (山口理事長)
- 定員** 20名(申込み順)
- 申込** 渡辺 Tel 042-467-2089
- 切** 11月30日



婦選会館 案内図